

1 日 時 平成26年11月〇日

2 学年・組 第3学年〇組

3 指導事項

(1) 書くこと イ

文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

(2) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(エ)

句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書くこと。

4 単元名 「くらべて分かったことを書こう」

5 言語活動 比べて分かった「おすすめ」を文章に書き、研究会のお客様に紹介する。

6 単元の評価規準と目指す児童の具体的な姿

| | 国語への関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|-------------|--|---|---|
| 評価規準 | ○ 疑問に思ったことの中から興味をもったことを選んだり、調べていく過程で文章に書き表したいという思いを膨らませたりしながら書こうとしている。 | ○ 調べたことや考えたことが明確に伝わるように、段落の役割や段落相互の関係に注意して文章の構成を考えている。 | ○ 適切に句読点を打ち、段落の始めを改行して文章を書いている。 |
| 目指す児童の具体的な姿 | ○ 伝えたい事柄を選び、比べて分かったおすすめのポイントについて、自分の考えを伝えるために書こうとしている。 | ○ 二つのことを比べて分かったおすすめする点について、二つの共通点や相違点、自分の考えを段落の構成の関係を考えて表現している。 | ○ 適切に句読点を打ち、二つのものを比べた文章について、段落の始めに一マス空けて文章を書いている。 |

7 単元について

(1) 児童の状況

- ・ **文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること**

本学級の児童は、第2学年「考えたわけを書こう」で、絵を見て考えたことを理由も合わせて文章を書く活動を行っている。段落の役割については、4月単元の説明文「自然のかくし絵」の読解を通して、文章の中にあるいくつかの内容のかたまりが段落であることや、段落ごとに大事な言葉をおさえて読む学習を行い、5月単元「かんさつしたことを書こう」では、見たことを事柄に整理して段落を意識して書く学習を行った。段落が、書かれている内容によってつくられていることは概ね理解して、読んだり書いたりしている。また、7月単元「心にのこったことを書こう」では、強く心に残ったことを書くために、大事なことを選んで書く学習を行った。選んだ事柄ごとに段落を作って文章にまとめたが、文章を書くことに苦手意識をもつ児童の中には、事

柄ごとに段落をつくることができない状況があった。

段落相互の関係については、4月単元「自然のかくし絵」で「はじめ・中・終わり」の構成になっていることを押さえ、「中」に取り上げられている事例は、全て「終わり」の筆者の伝えたいことのために書かれていることを読み取った。概ね、「中」の事例と「終わり」との関係が捉えることができていた。段落相互の関係を注意して書くことは今年度初めてである。また、文章を書くことについて抵抗のある児童が数名いる。その要因として、書くことへの苦手意識が強く意欲がもてないこと、書きたいことを文章にできないことが要因として考えられる。

- ・ **句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話文などの必要な箇所は行を改めて書くこと**

句読点を打ったり、内容を意識して段落を作ったりすることができる。しかし、句読点が多い児童、句読点が少ない児童、また、段落を意識して改行しても一マス空いていない児童がいる。

(2) 教材の価値

本教材は、二つのものを比べて分かったことを説明する文章を書く活動を通して、ものを比べるときの観点を知り、まとめり毎に整理しながら文章を書く力をつけることをねらいとしている。

教材には、昆虫の仲間である「ショウリョウバッタ」と「カマキリ」を比較して考えをまとめた例文（説明文）が提示してある。例文は、比べた二つの共通点と相違点を整理して、分かった特徴が整理して文章にまとめられている。始め、中、終わりの構成が明確になっており、「中」は体のつくりに関する共通点、相違点に注目して書かれていて、共通点である「体のつくりの足」を詳細にみると相違点があるという付け加えの構成になっている。さらに、最後の「終わり」の段落は、「中」で整理された体のつくりに関する内容から分かった考えが書かれていることから、どの段落も「体のつくり」に関する内容で一貫して書かれていることに気付くことができる。これらのことから、段落相互の関連を図って自分の考えを整理して書くことで、分かりやすい文章を書くことができることを理解することに適した教材だと考える。

本単元では、「比べて分かったおすすめの〇〇を、お客様に紹介しよう」を言語活動に設定する。二つのものを比べることで見えてきた自分の考えを研究会に来られるお客様に伝えるという活動を設定することで、相手意識をもってより分かりやすく伝えようとする意識を高めることができると考える。

(3) 指導の工夫

- ・ **文章全体における段落相互の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること**

単元導入時には、学習の目的を明確にもち、見通しをもつことができるように学習計画を伝える。

段落の役割を捉えるために、段落ごとにカードを準備して記述することで、内容ごとに段落を作るという意識をもちながら表現することができるようにする。

段落相互の関係に注意して文章を構成するために、段落ごとに記述させたカードを並べ、自分で構成を考える学習活動を行う。その際、教材文の文例を段落ごとに区切り、順番をばらばらに提示して、伝わりやすい文章になるように順番を並び替える学習活動を設定し、段落相互の関係についての意識をもつことができるようにする。最後には、友達と作品を読み合う活動を取り入れ、二つのものを比べることで様々な発見があることや整理して書くことで自分の考えが分かりやすく表現できることを理解することができるようにしたい。

文章を書くことへの苦手意識を軽減し、自分の考えをもつことができるように、地域のおすすめの場所を紹介する言語活動を設定した。二つの場所を比べて見付けた共通点・相違点からおす

すめは何かを考える。同じ場所をおすすめする友達同士でグループを作り、記述する内容を集めたり、分かりやすい構成になっているかを確認したりすることができるようにする。また、書く前に友達に自分の考えたことを伝え合う時間を設定し、自分の考えを口頭で表現してから書くという段階を得ることで、自分の考えが書きやすくなるようにしたい。

・ **句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話文などの必要な箇所は行を改めて書くこと**

書いた文章は一文毎に読むことを意識させ、句読点があることで読みやすくなることや意味が分かる文になることを理解できるようにする。段落を作る時に、観点毎に整理して書いていることを意識できるように、段落の始めに○を記述させるようにする。

8 単元の学習と評価の計画

| 次 | 時 | 学習活動 | 評価の観点 | | | 評価規準・(評価方法) |
|---|---|---|--------------|------|-----------------|--|
| | | | 国語への関心・意欲・態度 | 書く能力 | 言語についての知識・理解・技能 | |
| 一 | 1 | ○ 学習の見通しをもち、自分の地域の中でおすすめしたい場所を選び、段落カードに書く。 | ○ | ○ | | ・ おすすめしたい場所を選んで文章に書いている。(発表、段落カード) |
| 二 | 2 | ○ 二つのものを比べて、同じところとちがうところを見つけて、段落カードに書く。 | | ○ | ○ | ・ 二つのものの共通点と相違点を見付け、段落カードに書いている。(発表・段落カード) |
| | 3 | ○ 二つのものを比べて分かったことから、自分のおすすめしたい内容を考え、段落カードに書く。 | | ○ | ○ | ・ 二つのものの共通点と相違点から見付けたおすすめしたい内容を文章に書いている。(発表・段落カード) |
| 三 | 4 | ○ 考えが伝わりやすい文章の順番を考える。(本時) | | ○ | | ・ 提示された文章を読んで、考えが伝わる文章になるように、段落相互の関係を考えながら段落カードを並べている。(ワークシート) |
| | 5 | ○ 考えが伝わりやすいおすすめカードになるように段落カードを並べる。 | ○ | ○ | | ・ 自分のおすすめしたい内容が伝わるように、段落相互の関係を考えながら段落カードを並べることができる。(ワークシート) |

9 学習展開

- (1) 目標 考えが伝わりやすいおすすめカードになるように、段落相互の関係を考えながら段落カードの並べ方を考える。
- (2) 展開

| 学 習 活 動 | 指 導 上 の 留 意 事 項 | 評 価 規 準 (評 価 方 法) |
|---|---|---|
| 1 本時のめあてを確認する。 | | |
| <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 考えが伝わりやすいおすすめカードになるならべ方をせつ明する。 </div> | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 考えが伝わるには、どのように段落カードを並べたらよいでしょう。 </div> | | |
| 2 めあてに対する見通しをもつ。 | ○ 教師が意図して並べた段落カードを示すことで、本時の学習課題をつかむことができるようにする。 | |
| 3 段落カードを並べかえる。 ・ 自分で考える。 ・ 二人で交流する。 | ○ 4つの段落を意識することができるようなワークシートを用意する。 | |
| 4 段落構成を全体で交流する。 | ○ 段落カードごとに順番を確認し、はじめ、中、終わりの意識をもつことができるようにする。 | A：おすすめしたい内容が伝わるように、段落カードを並べかえ、段落相互の関係について自分なりの言葉で考えをまとめている。 (ワークシート) |
| 5 学習をまとめる。 | ○ 二つのものを比べて分かったことを段落相互の関連を図って自分の考えを整理して書くことで、分かりやすい文章を書くことができることをまとめる。 C評価の児童への手立て：ヒントカードを提示し、板書にあるキーワードを使って書くことができるようにする。 | B：おすすめしたい内容が伝わるように、段落カードを並べかえ、段落相互の関係について自分の考えをまとめている。 (ワークシート) |